

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立羽生実業高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。創立100周年を迎えるに当たり、学校の現状や課題、生徒・保護者・地域の期待をより広く把握・分析し、更に具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校に寄せられる地域の期待や学校の強み等を踏まえ、開かれた学校づくりの視点として「地域に貢献する」という文言を用いて重点目標の見直しが行われた。学校の取り組むべき目標が明確に示されており、今年度新たに地域の特産品を教材として栽培し、地域の学校給食へ提供するなど、日々の教育活動の指針となる優れたものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。分掌・学年間の連携を図り、よく議論しながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を更に促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策や評価指標が整理され、昨年度よりも重点化が図られている。方策の評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすいものとなるよう検討し、方策を計画的に実施することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校の歴史や伝統を踏まえ、教育活動の状況を把握した上で、農業の六次産業化などを視野に入れた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。次のステップアップに向け、校長が的確なリーダーシップを発揮し、教職員が共通理解を深めながら、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者・教職員を対象としたアンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。アンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			